

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名	: 中和剤（鮮度測定器用抽出試薬キット）
会社名	: セントラル科学株式会社
住所	: 〒112-0001 東京都文京区白山 5-1-3 東京富山会館ビル
担当部門	: 品質保証部
電話番号	: (03) 3812-9186
FAX 番号	: (03) 3814-7538

### 2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	: 単一製品
化学名	: 下記の化合物を含有する水溶液
成分及び含有量	: 水酸化カリウム 56%
化学特性（化学式）	: 水酸化カリウム KOH
官報公示整理番号 （化審法・安衛法）	: 水酸化カリウム 1-369
CAS No.	: 水酸化カリウム 1310-58-3
危険有害成分	: 水酸化カリウム

### 3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性	: 人体に対する腐食性がある。
有害性	: 皮膚、粘膜に対して腐食性があり、目に入ると失明することがある。 試薬ミスト、蒸気を吸入すると鼻、のど、気管に炎症を起こすことがある。
物理的及び化学的危険性	: 水酸化カリウム溶液自体は不燃性であるが、酸と反応すると発熱する。アルミニウム、すず、亜鉛などを溶解し、その際に爆発性のある水素ガスを発生する。
分類の名称	: 急性毒性物質、腐食性物質

### 4. 応急処置

吸入した場合	: 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。
皮膚に付着した場合	: 汚染した衣服や靴を脱がせる。直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。必要に応じて医師の手当を受ける。
目に入った場合	: 直ちに多量の水で 15 分以上洗い流す。医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合	: 直ちに水または卵白を混ぜた牛乳を飲ませ、医師の手当を受ける。 嘔吐させてはならない。

### 5. 火災時の措置

消火剤	: この製品自体は燃焼しない。
特定の消火方法	: 移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合は周辺に散水して冷却する。

- 消火を行う者の保護 : 呼吸保護具及び保護具を着用する。
6. 漏出時の措置
- 人体に対する注意事項 : 作業の際は適切な保護具を着用する。蒸気を吸入しないようにする。風上から作業する。関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川などに排出されると環境に影響を及ぼします。濃厚な廃液が河川や下水へ排出されないよう注意する。
- 除去方法 : 漏出した液は、けいそう土などに吸着させて空容器に回収する。汚染した場所は希酸を散布して中和した後、水で十分に洗い流す。
7. 取扱い及び保管上の注意
- 取扱い
- 技術的対策 : 皮膚、目に付いたり、蒸気を吸入しないように適切な保護具を着用する。酸性物質との接触を避ける。使用後は手を洗淨する。
- 保管
- 適切な保管条件 : 酸性物質と一緒に保管しない。密栓をして冷暗所に保管する。
8. 暴露防止及び保護措置
- 設備対策 : 洗眼施設及び身体洗淨施設を設置する。適切な換気を行う。
- 許容濃度 : TLV ; 2mg/m<sup>3</sup>
- 保護具
- 手の保護具 : 不浸透性保護手袋
- 眼の保護具 : 保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 白衣
9. 物理的及び化学的性質
- 形状 : 液体
- 色 : 無色
- 臭い : 無臭
- pH : 強アルカリ性
- 沸点 : データなし
- 融点 : データなし
- 引火点 : データなし
- 発火点 : データなし
- 爆発限界 : データなし
- 蒸気圧 : データなし
- 比重 : データなし
- 溶解性
- 溶媒に対する溶解性 : 水 ; 自由に混合
10. 安定性及び反応性
- 安定性 : 通常 conditions で安定
- 反応性 : 酸と接触すると反応して、発熱する。
- 避けるべき条件 : 日光、熱
- 避けるべき材料 : アルミニウム、すず、亜鉛、クロムなどまたそれらの合金を溶解し、その際に爆発性のある水素ガスを発生する。

## 1 1. 有害性情報

- 急性毒性 : (水酸化カリウムとして) ラット 経口 LD50=365mg/kg  
局所効果  
刺激性 (皮膚、眼) : 皮膚、粘膜を腐食する。目に入ると、結膜や角膜が腐食され、視力低下や失明することがある。  
ウサギ 皮膚 50mg/24H SEVERE ; ウサギ 眼 1mg/24H rinse MODERATE  
変異原性 : 染色体異常 ハムスター (生体外) 陽性  
生殖毒性 : データなし  
発がん性 : OSHA ; リストに記載なし  
IARC ; リストに記載なし  
NTP ; リストに記載なし

## 1 2. 環境影響情報

- 生態毒性  
魚毒性 : 魚類に対する致死量は 28.6mg/L、24 時間である。

## 1 3. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 多量の水で希釈して、希酸で中和した後、下水へ洗い流す。  
容器 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

## 1 4. 輸送上の注意

- 国連分類 : クラス 8 (腐食性物質) 等級 II  
国連番号 : 1814  
輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実に行う。

## 1 5. 適用法令

- 化学物質管理促進法 : 非該当  
水酸化カリウム : 毒・劇物取締法 第 2 条別表第 2 劇物  
労働安全衛生法 施行令第 18 条の 2 (名称等を通知すべき有害物 (MSDS 対象物質))  
海洋汚染防止法 施行令別表第 1 有害液体物質 (C 類) (溶液)  
危規則 第 3 条危険物告示別表第 3 腐食性物質  
航空法 施行規則第 194 条危険物告示別表第 11 腐食性物質  
港則法 施行規則第 12 条危険物 (腐食性物質)

## 1 6. その他の情報

- 引用文献 : コンパクト版化学物質安全性データブック  
化学物質安全情報研究会編, (株)オーム社  
13901 の化学商品, 化学工業日報社

この製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、危険・有害性の評価は

必ずしも十分でないので、取扱いには十分注意してください。また、含有量,物理/化学的性質,危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。